

3 日本認証サービス(株)のセキュリティ管理

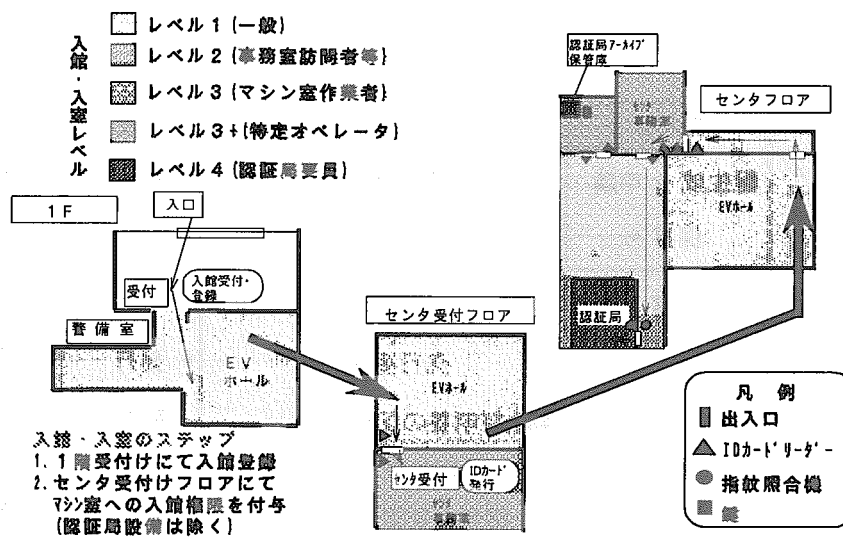
(1) セキュリティ管理の概要

日本認証サービス(株)が行うセキュリティ管理は、犯罪者等の不正な侵入を防ぐことを目的とする「設備面」、内部者による不正を防ぐことを目的とする「人事面」及び認証局の「秘密鍵の管理方法」に分けられる。

(2) 設備面のセキュリティ管理

ア 館内・室内の多層セキュリティ

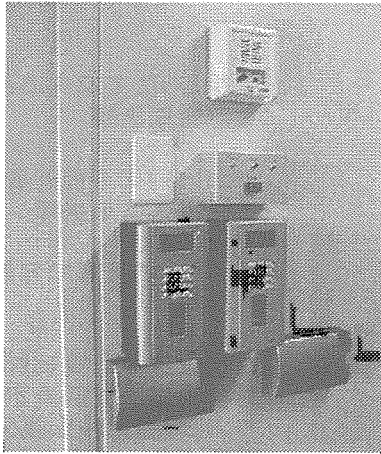
認証局内部の各部屋に立ち入ることができる権限を次のような4レベルに分け、関係者以外がむやみに入室できないようアクセスコントロールを行っている。入館・入室のステップは、建物1階受付にて入館チェックを行い、センタフロア受付にて適切なアクセス権限付与を記憶したIDカードの発行すること。



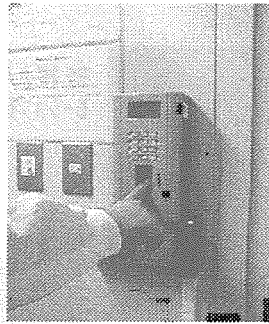
イ 生体認証（指紋照合機）による入退室管理設備

入室する際には、センタフロア受付にて交付されるIDカードによるアクセス管理のほか、レベル4への入退室には指紋の照合を行っている。また、入退室情報の履歴を残している。

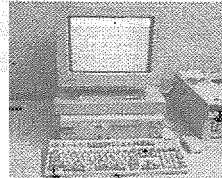
外観



使用方法



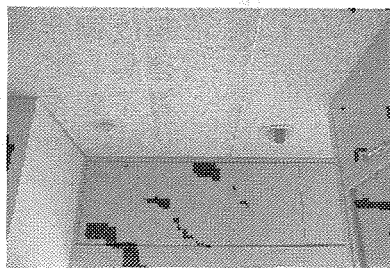
指紋照合機と
連動して
電子錠を開閉
(Dual Control)



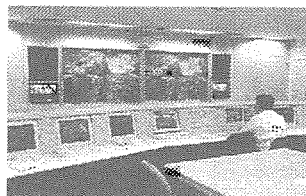
入退出情報を
Logging

ウ 常時監視

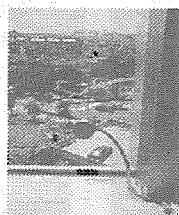
認証局内部の各部屋は監視カメラにて24時間監視が行われているほか、モーションセンサにて接近者、不正侵入者の検知を行っている。窓ガラスには、ガラスセンサが設置され、窓ガラス破壊の検知を行っている。監視画像は、認証局監視室及び警備員室に設置された監視モニタに投影されるほか、センタ集中監視室においても投影される。



監視カメラ(右)
モーションセンサ(左)



集中監視室



ガラスセンサ

監視カメラにて室内の状態を24時間監視

モーションセンサにて接近者、不正侵入者を検知

ガラスセンサにて窓ガラス破壊を検知

監視画像は監視モニタ(認証局監視室、警備員室)およびセンタ集中監視室に投影され、さらに72時間分録画される。
(正常時も常時録画)